

今月の先生

今年、初めて担任を持った先生！

今回登場してくださったのは、今年初めて担任を持った先生です。教員歴2、3年目のフレッシュな先生から、公立高校から私立高校に転任し新たな思いで担任となった先生まで。担任としての役割ややりがいはどう考え、どう取り組んでおられるのかを伺いました。

1つの質問に4人の先生が本音で答える

先生 TALK!!

vol.3

Q1
≡
プロフィール

Q2
≡
教員を志した理由

Q3
≡
教員として大切にしていること

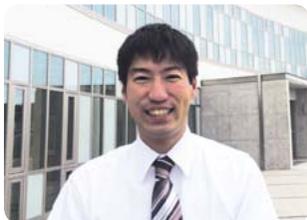
Q4
≡
最近嬉しかった出来事

Q5
≡
最近気になっていること

Q6
≡
今後、挑戦してみたいこと

Q7
≡
クラス担任として大切にしたいこと

[FILE NO.1]



青翔開智高校(鳥取・私立)
1年担任・進路指導部
英語担当
前川裕次先生(教員歴9年)

小 学校3~6年生の時の2人の担任の先生がとても素晴らしく温かい方でした。優しさの中に厳しさがあり、生徒一人ひとりと向き合い、対話し、いつのまにか一人ひとりを良くしてくれる先生方でした。卒業式の日にはクラスメイトがたくさん泣いていたのを覚えています。今振り返ると、あのときの先生方との出会いが人生の基盤になっています。

い つか手を放す日のために、惜しみなく手をかけたい。思いは熱いですが、距離感にはこだわりがあります。私の好きなマラソンに例えると、普段は結構前を走り、後ろに回るときは少し離れて見守る感じ。時には横と一緒に走ることもあって、常に俯瞰でも見えています。普段近すぎると、いざという時どんな言葉も響かないので、距離感を大切にしています。

生 徒はよく「なんでこんな勉強しなきゃいけないの?」と聞いてきます。いろいろな答えを考えてきましたが、最近やっとベストな答えを発見。正解は「目的を見失わせている自分の授業が悪い。どうしたら面白くなるか、一緒に考えよう」と思っています。「なぜ?」の答えとして、学ぶ意味を自然に実感できる授業をしようと思えたことがとても嬉しいです。

新 設の本校に赴任して3年目の今年、初めて担任した今のクラスがとても良いクラスで(笑)。卒業までにどんな素晴らしい成長を遂げているかと思うと、気になって仕方ない。1年間に20回を目標に、クラス全員と定期的に個人面談をしています。それぞれ持ち味や課題があるので、個性を生かし、課題を克服できるように働きかけたいと思います。

教 員が教え過ぎず、生徒自身が理解・習熟して応用していく授業の徹底です。学ぶべき課題に対して、理解の仕方は本当に千差万別。それなのに教員の教え方は一通り。これでは授業はつまらないままです。本校は生徒が1人1台iPadを持っているので、それを利用しない手はありません。自主的に学ぶ時間が多い、自由度の高い授業を実践していきたいです。

高 校卒業、就職...など、なんでもゴールを見据え、ゴールした時点でどうありたいか、そのために何をすべきか逆算して今を過ごす癖を付けてほしい。そして人の役に立つことをして、愛される人になってほしいと伝えています。耳の痛いことばかりいう先生かもしれませんが、でも将来振り返った時、私の言葉を実感してもらえるといいなと思っています。

[FILE NO.2]



旭川大学高校(北海道・私立)
3年担任
国語担当
青木栄美花先生(教員歴2年)

高 3の担任の先生が本当に親身な話を聞いてくれる方で、進路に迷ったときも、納得のいく道を選ぶことができました。ここまで深く人のために動ける仕事は他にないと魅力を感じました。私自身がそうだったように、もう子どもではないけれど、人生を決める岐路に立って悩むことも多い高校生をサポートしたいという思いから、高校の先生を選びました。

生 徒の話聞くことです。相談されたときはもちろん、叱るときも、まずは聞くことを徹底しています。でも聞くことはとても難しく、十分聞けたという実感がなかなかつかめません。普段からの関係づくりが大事だと思ひ、例えば校則を守らない生徒に「守ってね」と声をかけ、改善されたら「できてるね」と伝えるなど、こまめに話しかけるようにしています。

就 職活動中の生徒が、「この前の面接で『担任はどんな先生?』と聞かれたので『みんなのことをちゃんと見てくれて親身に話を聞いてくれる先生です』って答えたよ」と報告してくれたこと。まだ若いので威厳がなく、生徒に友達のように思われていると不安になることも。でも私の「こうなりたい」という思いが伝わっていることがわかり、嬉しかったです。

何 事もベストを尽くさない生徒が多いこと。陸上部の副顧問ですが、余力があるのに「もうこれ以上走れない」と言う姿は残念。私自身、走り高跳びで全国1位になった経験を基に、そこに至るプロセスを伝え、少しずつ努力を増やすよう提案しています。たぶん目標がないことががんばれない理由なので、何のためにがんばるのか、考えるよう促しています。

国 語は聞く力、気持ちを読み取る力、伝える力など、社会で必要な基本的な力を育てる大切な教科だと思うので、一人でも多くの生徒に国語を勉強する意味を見つけてほしいです。そのために「山月記」の授業では導入に全員で動物占いをやってみて、虎になった主人公の性格をイメージするヒントにするなど、少しでも身近に感じてもらえるよう工夫しています。

37 人いると教室で発言する生徒は限られていて、全員に目が届きません。そこで廊下など別の場所でこまめに話しかけています。教室では静かなのに一対一だと自分のことを話してくれたり、楽しそうに見えても不満や悩みを抱えていたり意外な面が見えてきます。自分の気持ちを話す機会が意外と少ない生徒が多いので、まずは聞いてあげる存在になりたいです。

[FILE NO.3]



尾道北高校(広島・県立)
1年担任・教務部
数学担当
西田峻祐先生(教員歴2年)

高 校の教員だった父の姿を見て自然と先生の道へ。大学は理学部でしたが、「数学を通して社会で役立つ力を育てたい」と思いました。また中学から大学まで続けた卓球を、部活動の顧問として教員になりたいという思いも強かったです。部活動の顧問は私の憧れで、部活という学校でしか味わえない特別な活動の良さを、生徒と一緒に味わいたいと思っていました。

人 生に無駄なことは何もないということです。生徒はほぼ全員が大学進学を希望しており、中には受験に必要なことだけやればいいと思っている生徒もいます。受験に必要なに限らず、どんなこともがんばった後には必ず得るものがある。むしろ無駄に見えるものこそが人生を豊かにするというのを伝え、多方面でベストを尽くせる人に育てていきたいです。

先 日終わった体育祭の応援合戦で、練習の成果が出て感動的な仕上がりになったことですね。クラスで選出された応援リーダーから、私もいろいろ相談を受けましたが、結局「こうすればもっと良くなる」と大人が押し付けてもダメ。生徒の力を信じて待つことや任せることの大切さを教えられました。結果、彼らなりの素晴らしい成果を出せたことが本当に嬉しいです。

指 示待ちの生徒が多いのが気がかり。言われたことだけやるのではなく、「こうしたい」「もっとこうできる」と貪欲に物事に取り組んでほしいと思います。しかし最近になって、自主的に取り組もうとしても、方法が分からずにできない生徒が出てしまったため、不合格の生徒全員と個別面談。この取り組みを通して、コツコツ努力することの大切さを伝えたいです。

せ っかく担任を持ったので、クラス全員で何かを成し遂げる経験をしたいです。毎週、国・数・英、各教科1回ずつ小テストがあるので、全教科1回はクラス全員で合格することを目標に掲げました。早速英語の小テストで不合格者がたくさん出てしまったため、不合格の生徒全員と個別面談。この取り組みを通して、コツコツ努力することの大切さを伝えたいです。

私 は嘘をついたり演じたりすることは苦手ですが、逆に本当に考えていることなら自信を持って話します。その強みを活かし、本音で生徒と接していきたいです。実際、本音をストレートに伝えて、生徒の本当の思いを引き出せたと感じることがあります。クラス40人全員との信頼関係をつくり、充実した学校生活が送れるようサポートしたいと思っています。

[FILE NO.4]



福岡大学附属若葉高校(福岡・私立)
1年担任 進路担当
地歴・公民担当
木幡理沙先生(教員歴3年)

小 学校高学年の担任の先生はクラス40人と毎日交換ノートをしてくれました。女子のグループで無視されることがあり、私が標的になったときも、先生が交換日記で「1人で帰ったね」「今日は昼休み1人だったね」と書いてくれたおかげで、一人じゃないと思え、恐怖心も和らぎました。すごく信頼ができ、こんな人になりたいと日々思っていました。

生 徒に話す内容に意味がないのはイヤなので、何かを伝えるとき必ず「出会うこと、気づくこと」があるように心掛けています。私が仲介することで、実はたくさんある出会いに気づいてほしいのです。例えば今担任している1年生が入学した時、「今こそ新しい自分に出会うチャンス」と伝え、目標を書かせ、1学期が終わるときに見直させたりしています。

私 の担任するクラスで2学期になって不登校になってしまった生徒が、ある日学校に来てくれたことですね。電話や家庭訪問をしたのですが、私自身は話すことができず、結局、クラスメイトに電話をしてもらって「一人じゃない」と励まされ登校できたようです。不安でいっぱいでしたが、顔がみられてホッとします。これからも注意深く見守ってまいります。

考 えられない生徒が増えていて感じます。「よく考えて」というだけでは変わらないので、ヒントを出すようにしています。例えばテニス部顧問として、毎日練習後「今日がんばれた?」「それで満足?」などひと言メモを書いて渡し、その問いかけをどう受け止めて、行動したかを見て翌日は「足が動いていたね」というメモを渡したり。そんな積み重ねが大事なかなと思います。

授 業にもっとアクティブ・ラーニングをとり入れ、「なぜ?」「どうして?」と考える時間をたくさん作りたいです。受験に無関係の授業では、貿易ゲーム、ディベート、模擬投票など、実感を通して学ぶ機会を取り入れています。受験に必要な授業では、講義がほとんど。これをいかに生徒に問かけられる授業、生徒の問いを引き出せる授業に変えるかが課題です。

生 徒に何かを伝えるより、自分自身、間違いや失敗があっても諦めないひたむきさを大切にしたい。前向き、ポジティブというより、努力し続ける姿勢を見せ続けたいですね。クラス通信を定期的に発行したり、毎週1回クラス全員が提出するポートフォリオに対して、的確なコメントができるようにするなど、課題に対して手を抜かないよう心掛けています。